

## 仕事量が多くても少なくても帰社時間は同じ？

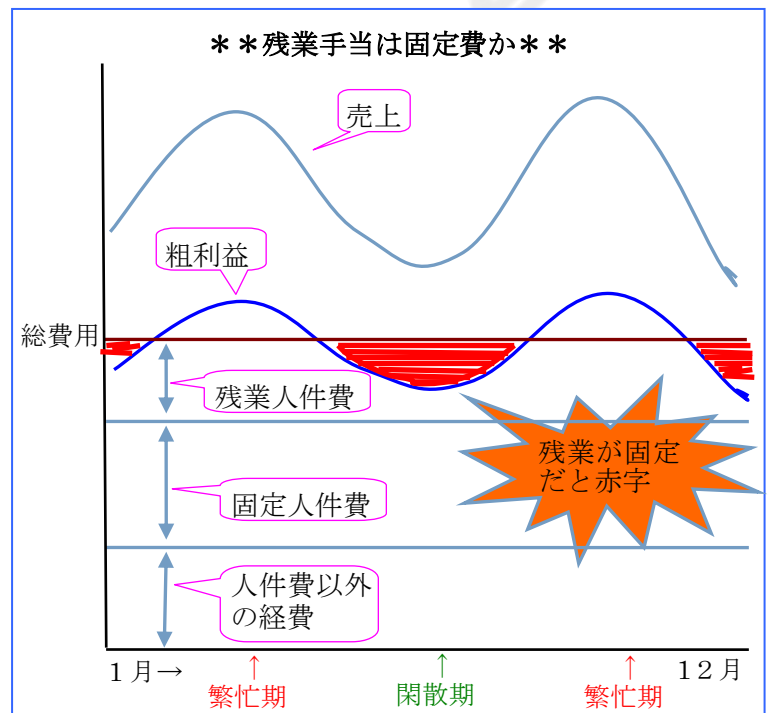
### 残業手当は固定費？

お客様でよく聞く話に、「忙しい時も暇な時も帰る時間は同じなんだよなー」というのがあります。

右図は、忙しい時も暇な時も同じように残業をした場合の損益を表したものです。

「粗利益－総費用＝利益」です。繁忙期は利益が出ていますが、閑散期は赤字になっています。閑散期も残業がなければ利益が出る形をしています。売上変動の大きな会社は、残業時間のコントロールで年間の利益が大きく変わってきます。

仕事量が少なくても働く時間が変わらないという不思議なことはなぜ起きるのでしょうか。



### 仕事とは何か

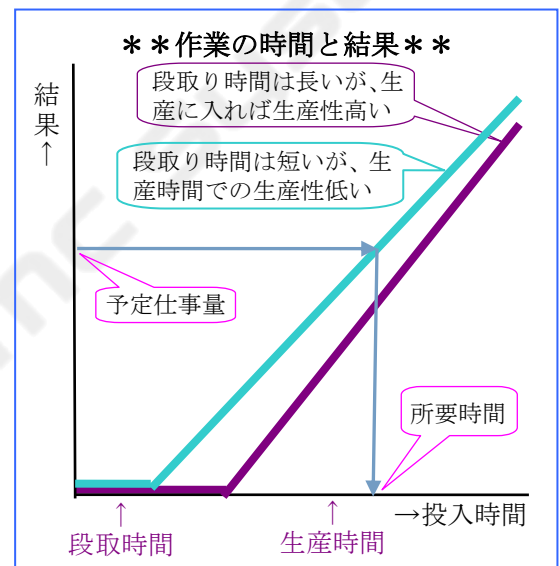
経営学の本には「仕事とは目標を実現する手段」だと書いてあります。目標を結果とすればそれを実現する行動があるはずで、ところが逆は必ずしも真ならずで、同じ行動をしても同じ結果になるとは限りません。

仕事は誰がやってもほぼ同じ結果が得られる仕事と、人によって結果が大きく異なってくる仕事とに分けられます。

前者は、「作業」と言われ判断を必要とせずマニュアル通りに行えば同じ結果の得られる仕事です。後者は判断の良しあしで結果が異なってくるものです。判断とは、現状を観察し、問題点があれば分析し対策を考えて行動することで、このような仕事は「判断業務」と言われます。判断業務は時間をかければできるというものではありません。

毎日行われる多くの仕事は「作業」です。

作業と言われる仕事は、右図のようにかかった



時間(段取時間+生産時間)と結果が比例関係にあります。仕事量が決めれば働く時間は計算できます。それなのになぜ帰る時間は変わらないのでしょうか。

### 人は生産性で働いていない

人の働きは、生産性で測られます。

$$\text{生産性} = \text{結果} \div \text{投入時間}$$

生産性が高ければ利益が出て、給料もアップできます。給料が上がれば生活レベルも上がるでし

よう。それなのに、なぜ上記のように残業が定着してしまう会社があるのでしょうか。その原因は、いろいろなことが考えられます。生活費を稼ぐということからすれば、残業をすれば目の前ですぐ

給料は増えます。仲間が残業しているのに先には帰りにくいということもあるでしょう。また、忙しい時に残業をしてもらうためには、仕事が少ない時もすぐには帰りにくいと考える上司もいるでしょう。ブラック企業とかブラック社員という言葉

## あるべき形を示す

会社の仕事で、短期的利益につながる仕事はほとんど作業です。前ページのグラフにあるように仕事量が決めれば、かかる時間は計算できます。今日の仕事量から今日の仕事の終了すべき時間を示すことができます。これが「あるべき終了時間」となります。「あるべき終了時間」を示す効果は驚くほどあるのです。また、あるべき終了時間が大きくずれ

葉が言われるようになり、働く時間を長くすることで、利益を上げたり、給料を増やすことは難しい時代になっています。今まで以上に人時生産性を上げることが企業業績向上には重要となっています。

た時は、何かの異常事態が起きた時です。その状況把握、原因追及も早くできます。

あるべき時間計算が大変だとか、面倒だと思わないでぜひやってみてください。閑散期の残業費の削減は利益や賞与の増加となり、社員の時間の有効活用にもなります。それに何よりも社員の能力アップ・意識向上になることを知ってください。

### チルチルミチルの経営用語

\* チルチルミチルの兄妹は幸せの使いである青い鳥を探して \*  
\* さまようが、本当の幸せは足元にあることを知るといふ童話 \*

## システム化 川の流れのように

「川は流れてどこどこ行くの」という歌のフレーズがありました。いつもの川なら流れの行き着くところは決まっています。ところが、時には氾濫して大災害が起こることもあります。川の流れは流体力学の発展とともに防災対策が取られ被害を最小にする努力が行われてきました。いうまでもなく、流体力学が生まれる前から川は川として流れていたわけです。その川を人の不幸につながらないように、また幸せに役立つようにしようとして流体力学が発達してきました。

自然界でいろいろな学問が発達してきたと同様、人間行動の世界でも有益な原理原則が作られてきました。その中の一つがシステム工学です。リンゴが木から落ちるのはなぜかは、万有引力の法則により不思議ではなくなりました。リンゴはみな同じように落ちます。しかし、会社は同じものを作っても同じように利益が出て成長しているとは限りません。どこの会社も業績を上げようと、そして成長しようと努力しています。しかし、思うようにいかないのが経営です。そこに登場してきたのが「システム」という魔法の言葉です。

システムとは目的を最も合理的に達成するために組み立てられた仕組みのことを言います。

混沌とした企業行動を分析・総合化して、より高度な仕組みに作り変えていくことを「システム化」と言っています。コンピュータの発達でシステム化は大きく進展し、企業業績に多大の影響をもたらすようになっています。

川の上流で大雨が降っていることもあるように、会社の環境も変化しています。その変化に合わせて柔軟に対応できる仕組みを必要とすることもあれば、環境変化を予知する仕組みが求められることもあります。しかし、最も大切なことは通常時の仕組みがきちんとできていることです。毎日繰り返されることの合理的な仕組みができていなければ、異常時の仕組みはともできません。

システム化とは日々の業務を、おだやかな川の流れのように誰でもが進めることができるようにすることではないでしょうか。

システム設計から情報分析まで

**mc system**

エムシー システム株式会社

URL <http://www.mcsystem.co.jp>

〒450-0002

名古屋市東区名駅五丁目 30 番 4 号

名駅KDビル 8 F

TEL(052)571-7011 FAX(052)571-7013

システムのこともなら何でもご相談ください。